

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

夢のあるたくましい会社を目指し、健康な生活づくりに貢献。食を科学し世界をパワフルに。

2 中長期の経営戦略

1. 精糖事業強化

営業体制強化、品質管理徹底で顧客満足度向上。コスト削減で安定供給と堅実仕入れを実行。

2. 機能性素材拡大

イヌリンの既存顧客深耕と新規顧客獲得。東南アジアでの商圏回復と生産設備拡張を推進。

3. ユニテック多糖類

ペクチン等増粘多糖類の拡販。技術力を活かしODM事業など新付加価値提供を目指す。

4. キャッサバ事業展開

Thai Wah社と連携。付加価値商品開発販売でタピオカ周辺事業を拡大し企業価値向上。

3 対処すべき課題

① コスト上昇への対応

- ・ 原材料・エネルギー・人件費・物流費の継続的上昇に対応
- ・ 盤石な財務基盤維持で事業環境変化に迅速対応
- ・ 十分な運転資金確保と成長分野への投資

② 砂糖市場縮小への転換

- ・ 少子高齢化・加糖調製品浸食による消費減少に歯止め
- ・ タピオカ周辺事業含む非砂糖分野の拡大
- ・ 精糖販売数量減少の抑止と事業多角化

③ 経営環境の不確実性

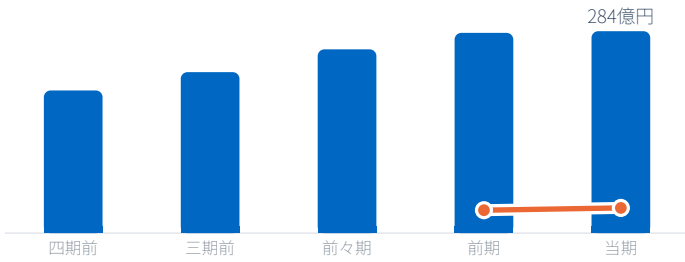
- ・ 米国政権交代による不安定な経済環境への対応
- ・ ウクライナ情勢長期化に伴う世界経済減速への対応
- ・ 人口減少・労働力不足・業態超越競争への対策

面接で使えるポイント

- ・ CHANGE 2028で攻めへの転換を掲げ、精糖メーカーからフードサイエンスカンパニーへの飛躍を目指す
- ・ イヌリンやペクチン等の機能性素材で付加価値製品化。東南アジア商圏回復と生産拡張を推進中
- ・ Thai Wah社と連携しタピオカ周辺事業へ参入。砂糖依存から非砂糖分野への事業転換を実行

証券コード 2114

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
284億円営業利益率
12.5%財務健康度
72点 / 100点

要するに
食品業界に属する上場企業で、直近期の連結売上は
282億円

主力事業・セグメント

- ・ Functional素材 50.1%
- ・ Sugar 47.7%
- ・ 不動産 2.2%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 営業利益率12.5%の安定した収益性
- ・ 財務健康度72点と財務基盤が健全
- ・ 将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 60.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
40.7歳
食料品内 74位/121社平均勤続
12.4年
食料品内 90位/121社女性管理職
7.1%
食料品内 76位/106社男性育休
100.0%
食料品内 11位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: フジ日本(株)【2114】：決算情報

